

10/5
朝日

金品返却6割 税務調査後

関電、11年間「保管」も

関西電力の役員ら20人が福井県高浜町の森山栄治元助役（故人）から多額の金品を受け取った問題で、役員らによる森山氏への金品の返却は、金額ベースで6割弱が2018年であった。税務当局の関係先への調査を知った後だった。関電は「一時的な保管だった」と

説明するが、役員による金貨など高額品の「保管」は最長11年に及んでいた。▼33面II工事を「特命発注」関電の社内調査によると、役員らが06年以降に受領した総額約3・2億円のうち、9割弱にあたる約2・8億円は森山氏側に返却済み。返却の時期は18年1

月以降に偏る。役員らは森山氏が顧問を務める「吉田開発」（同町）に税務調査が入ったことを同月に知ったが、これ以前の返却は約1・2億円で返却額の4割強にとどまっていた。残りの6割近くの返却は税務調査を知った後で、直後の同2月に豊松秀己副社

金品の返却は税務調査後が6割近くを占める

返却額と時期（20人の合計額）

受取総額 3億1845万円		返却額	
未返却	税務調査前 1億2450万円	税務調査前	税務調査後 1億5908万円
八木誠 会長	859万円	30万円	729万円
岩根茂樹 社長	150万円	---	150万円
豊松秀己 元副社長	1億1057万円	2800万円	7257万円
森中郁雄 副社長	4060万円	---	3260万円
鈴木聡 常務執行役員	1億2367万円	8165万円	4202万円
大塚茂樹 常務執行役員	720万円	100万円	310万円

長（当時）が自身を含む役員6人、計1億6千万円分をまとめて返却した部分が大いという。

関電は役員らが金品を受け取ったことについて、森山氏に何度も返却を申し出たものの「強く拒絶され、

一時的に個人の管理下で保管していた」（岩根茂樹社長）と説明している。ただ、その「保管」は長期に及ぶケースが目立つ。

八木誠会長は06、09年に商品券、金貨・金杯、スリッ立券など859万円を受け取った。07年に受け取った金貨・金杯は18年2月まで返却しなかった。

関電は役員らと森山氏との面会の際に、発注予定の原発関連工事の概算額などを伝えるなど便宜を図っていた。ただ、森山氏はかなりの頻度で金品を持ってきており、関電は「情報提供の見返り」という認識は持っ

ていなかった」とする。企業統治に詳しい遠藤元一弁護士は「税務調査を知ってから、保身を考えて急

いで返した印象だ。弁護士や警察への相談、社内調査に直ちに動き出すべきだったと指摘した。（西尾邦明）